データシート

IDOL

テキスト分析、スピーチ分析、およびビデオ分析の統合

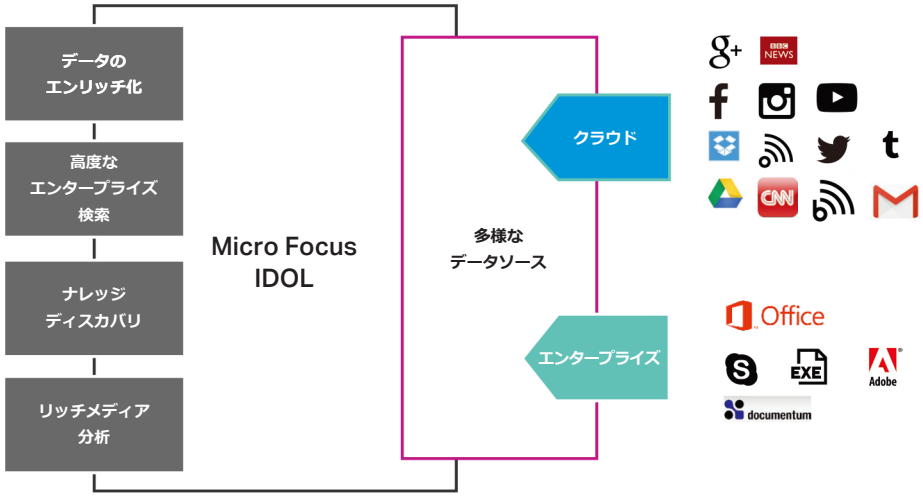

図1: IDOLの一般的なユースケース

製品ハイライト

Micro Focus® IDOLは、1,000以上のデータ形式に対応したテキスト分析、スピーチ分析、およびビデオ分析の統合ソリューションです。IDOLでは、追加設定なしにファイアウォールの内側または外側に存在する150のデータリポジトリ (DocumentumやDropboxなど) にアクセスできます。また、データの移転や改変を行うことなく、インデックス化が可能です。IDOLは機械学習やディープニューラルネットワークといった実績のあるワールドクラスのテクノロジーとイノベーションに基づいて設計されているため、トレンド、パターン、関係性を明らかにして隠された情報を見つけ出すのに役立ちます。IDOLを使用すると、ユーザーのプロファイルとアクションを詳細に把握し、ユーザーに合わせてナレッジ共有をパーソナライズできます。情報検索やナレッジディスカバリの場面では、IDOLの自然言語による質問応答 (機能) によってエンドユーザーエクスペリエンスが一変し、人と機械の間でのシンプルで文脈に基づいた対話が可能になります。

IDOLでは、多数の高度な分析機能をモジュールとして提供しています。また、組み込みやサードパーティ製品との統合が容易な、オープンでスケーラブルなアーキテクチャーを備えているため、幅広い業界のさまざまなユースケースで利用できます。

組織内の機密情報を保護することは、効果的な運用に不可欠です。IDOLのマップドセキュリティにより、セキュリティ資格の維持が可能になります。セキュリティ資格に関する最新情報を同期することで、機微なデータを保護しながらユーザーが適切な情報にアクセスできるようにします。

導入のメリット

人間が生成するデータの理解と活用

データのエンリッチ化では、メタデータなどの属性に基づきデータを強化します。たとえば、IDOLではツイートから会社名を抽出し、これらのツイートに抽出した会社名を関連付けして、フィルタリングできるようにします。

IDOLの概要:

- **ほぼすべてのデータの活用:** 150以上のソースに対応したコネクターと1,000種類以上のデータ形式をサポートしているため、ファイアウォールの内側または外側にあるほぼすべてのデータにアクセスし、データの移転や改変を行うことなくインデックス化できます。
- **テキスト分析、スピーチ分析、およびビデオ分析の統合:** 機械学習やディープニューラルネットワークの最新技術を利用し、構造化されていないサイロ化されたデータリポジトリからパターン、トレンド、および関係性を見つけ出して、実用的な分析情報を得ることができます。
- **エンタープライズグレードのセキュリティ：**適切なユーザーが適切なデータにアクセスできるようにします。強力なデータアクセス保護を使用してパフォーマンスを犠牲にすることなく、セキュリティ資格に関する最新情報を維持します。

高度なエンタープライズ検索では、検索語句と関連のある概念に基づいてエンタープライズ検索の結果を提供します。これは、単純なキーワード検索ではありません。たとえば、概念に基づいたエンタープライズ検索では、Appleを検索した場合に、Apple、Samsung、およびMicrosoftに関連する結果が返されます。これは、同じ業界で同じ市場を対象としているという点で、これらの企業に関連性があるとIDOLによって認識されているためです。

ナレッジディスカバリでは、前もってどのような質問をすべきかが分からなくても構いません。IDOLは、機械学習とディープニューラルネットワークアルゴリズムを利用して、データ内に隠れているパターン、トレンド、および関連性を見つけ出し、データからストーリーを導き出します。たとえば、IDOLでは、顧客のツイートとコールセンターのログを分析し、製品の業績が振るわない根本的な原因を明らかにすることができます。

リッチメディア分析では、ユーザーはビデオ、画像、および音声コンテンツを取り込んで、データを詳細に分析できます。たとえば、マーケティング担当者は、ソーシャルメディアのテキスト分析に加えて、放送メディアでロゴ、画面上のテキスト、およびスピーチの監視と分析を行うことができます。

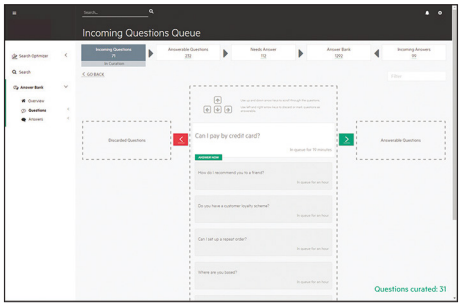

図2: 自然言語による質問応答 (機能) の管理者UIでは、質問と回答の収集整理を簡単に行うことが可能

主な特長

ダイナミックコーパスでは、他の手段ではアクセスできなかったダークウェブを含む関連ソースをデータ主導で動的に検出することで、これまでにない情報アクセスが可能になります。

NiFiインジェストでは、IDOLの強力な取り込み機能をNiFiフレームワークのコンポーネント/プロセスとして使用することが可能になります。これにより、データ取り込みチェーンの構成やモニタリングが大幅に簡素化され、スケーラビリティ、耐障害性、および文書追跡の実現が容易になります。

暗号化では、既存のAES/FIPS暗号を使用してインデックスや文書を暗号化し、不正なアクセスや複製から保護することができます。

GDPR対応機能は、現在、31か国 (EUの28か国とリヒテンシュタイン、ノルウェー、アイスランド) 向けに提供されいます。これにより、個人識別情報 (PII) を明示的に絞り込んでコンプライアンスを簡素化できます。

自然言語による質問応答 (機能) では、自然言語で問い合わせに応じることができます。たとえば、「iPhone 7でローミングをオフにする方法」、「2016年第3四半期のHPQ (HP Inc.) の1株当たり利益 (EPS)」、または「批評家Xの映画Yに関する発言内容」といったさまざまな質問をすることができます。

IDOLを使用すると、より自然な顧客サービスのシステムを構築できます。単体の検索ボックスの代わりにIM形式のインターフェイスを使って、ユーザーが質問や問題の説明を自然言語で入力できるようなシステムを構成できます。問題に直接回答し、1つの答えや解決策を提供する以外にも、システムとユーザー間で会話を行い、問題の診断や解決に必要な追加情報を収集する使い方ができます。

回答の提供可否、正確さ、および関連性を継続的に改善するため、管理者は使いやすいGUIベースのツールを使用して、質問と回答の収集整理を効率的に行うことができます。

自動クエリガイダンスでは、検索結果を動的に生成されるカテゴリにグループ化して、検索セットを素早く絞り込めるようにすることができます。たとえば、“Madonna” (マドンナ、聖母マリア) という検索では、歌手、宗教的偶像、およびその他の関連するカテゴリのクラスターが作成されます。

自動ハイパーリンキングでは、現在利用している文書と概念的に関連のあるさまざまな形式のファイル (音声とビデオを含む) へのリンクが表示されます。競合企業に関する記事を読んでいる場合であれば、その企業の最新の広告キャンペーン、CEOとの音声インタビュー、社内の競合製品バトルカードなどへのリンクが表示されます。リンクは文書を表示しているときにリアルタイムで生成されるため、トピックについてその場で詳細を確認できます。

コンセプト検索では、キーワードを使用することなく主要な概念を抽出できるため、文または文書全体をクエリとして入力できます。コンセプトを使って検索すると、使用された実際のクエリ語句を含まない関連文書も取得されるため、最も幅広いクエリセットを得ることができます。

パーソナライズでは、ユーザーの関心やスキルセットを理解して、より精度の高い対象を絞り込んだエンタープライズ検索が提供されます。また、閲覧履歴、コンテンツ投稿、およびインタラクションなどのコンテンツ利用に基づいたナレッジ検出結果が提供されます。また、各自の関心を明示的に定義して、検索エンジンに学習させることもできます。

エキスパートロケーターでは、何年も前に入力された古いプロファイル情報に頼ることなく、コンテンツアクティビティやソーシャルな手掛かりに基づいてエキスパートを見つけ出します。

カテゴライズでは、定義済みカテゴリまたは動的に生成されるカテゴリに従って、データのエンタープライズコーパスを編成します。既存の従来型の分類は、そのまま維持することも、コンテキストの理解に基づいてエンリッチ化することもできます。

エンティティ抽出では、会社や人の名前、場所、住所、電話番号など、キーフィールドに適した文書内の語句を自動的に識別して抽出します。IDOLでは、多数の言語に対応した数百のエンティティ文法が追加設定なしで利用できます。

クラスタリングでは、データ形式が異なっていても、類似の情報が1つにまとまるように、大規模なデータセットを自動的に分割します。ク

ラスターはそれぞれが1つの概念領域を表しているため、内在する主題や新たに出現したトレンドを容易に見つけることができます。

センチメント分析では、コンテンツ全体またはコンテンツの一部分で、特定のテキストの感情がどの程度ポジティブ、ネガティブ、または中立であるかを判断します。IDOLでは、言語分析と統計的なパターンに基づくアプローチの両方を利用して感情を導き出します。現在、この機能は、アラビア語、中国語、チェコ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、およびトルコ語で提供されています。

ビジュアル化は、主要な概念をハイライト表示するトピックマップを含む機能を備えたエンドユーザー向けグラフィカルユーザーインターフェイスであるBIFHIによって提供されます。これには、サンバーストチャートが含まれており、抽出されたエンティティ (人、場所、会社など) に基づいて容易にフィルタリングできるようになっています。この結果は比較できるように設定されており、検索パラメーターの変更が結果にどのような影響を与えるを調べることができます。BIFHIでは、リッチなコンテキストに基づく表示が利用できます。クエリ結果には文書そのものが含まれるだけでなく、メタデータや他の関連情報 (同じ作成者による文書や同じ期間の文書など) も表示されます。

カスタマイズ可能な検索インターフェイス (Find) は、Micro Focusのオープンソースツールです。これは拡張可能なエンタープライズ検索ユーザーインターフェイスで、お客様の利便性を考慮してIDOLに付属して提供されています。Findは、独自のアプリケーションを構築する際の柔軟性の高い基盤として利用できるように設計されています。この起動が速く使いやすいエンタープライズ検索インターフェイスを利用すると、ほぼ瞬時の検索が可能になるだけでなく、インテリジェントな検索機能が必要なアプリケーションの開発を迅速化することもできます。

ナレッジグラフでは、高度なグラフ分析テクノロジーを利用してエンティティ間の関係性を見つけ出します。これにより、ナレッジディスカバリがより高機能で効果的なものになります。誰と誰が知り合いか、誰が何を知っているか、重要な顧客の間にどのような共通の特徴があるか、などを見つけ出すことができます。

コネクターでは、企業のコンテンツ管理システム (CMS) やメールアプリケーションにアクセスできます。また、幅広いデータを収集してインデックス生成を行えるように、オープンプロトコルやクラウドベースのシステムがサポートされています。

セキュリティ機能には、同期によるセキュリティ資格の維持、認証、アクセス制御、およびユーザーの均質化などが含まれています。

オープンで安定性の高いアーキテクチャーコンポーネントにより、統合、高可用性、および拡張性を容易に実現できます。

システム管理

- ユーザー /役割管理
- メモリおよびスレッド使用状況監視
- サービス監視および制御
- IDOLデータベース作成監視
- モジュール構成
- ホスト/サービス検出
- 構成検証
- 文書追跡
- 検索で150の言語をカバー

BIFHI (Business Intelligence for Human Information)

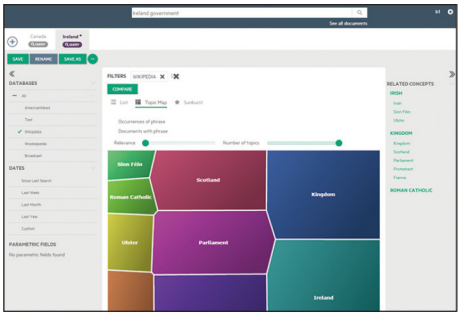

図3: 容易にドリルダウンできる主要な概念

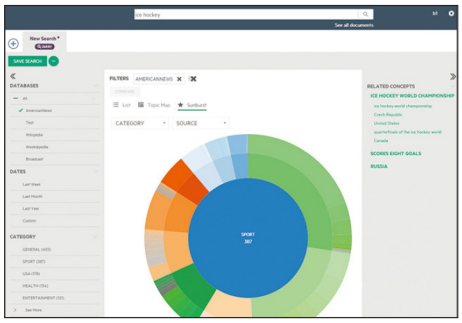

図4: データから抽出されたエンティティ (人、場所、会社) に基づくフィルター

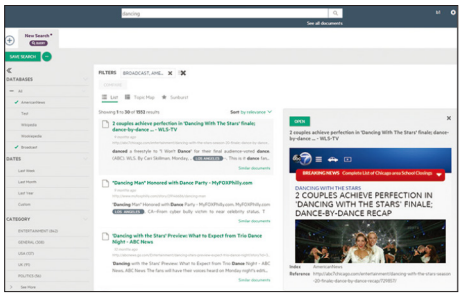

図5: 検索結果の元情報を直接プレビュー

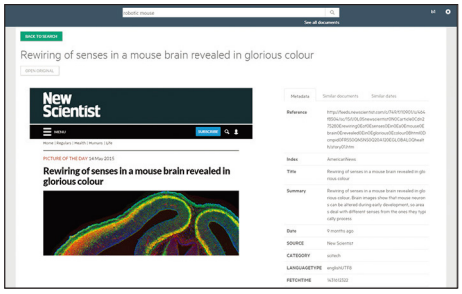

図6: 文書のメタデータ、類似文書のリスト、および類似日付の文書に関する詳細サマリー

IDOL Adminダッシュボードを利用すると、管理者はパフォーマンスに関する課題に素早く対処できます。

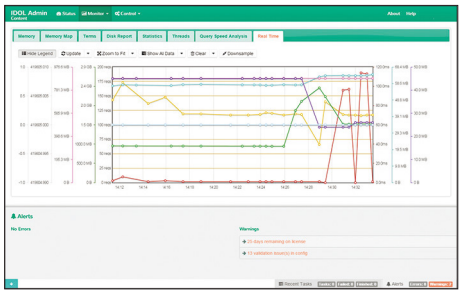

図7: IDOL Adminダッシュボード

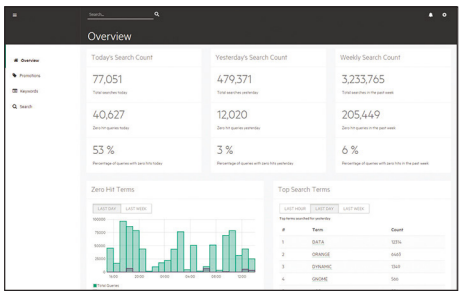

図8: IDOL Data Admin

IDOL Data Adminでは、企業管理者向けに提供される各種統計情報のダッシュボードビューを利用して、検索エクスペリエンスを調整して改善できます。

サポートプラットフォーム

サポート対象プラットフォームは、個々のコンポーネントによって異なります。複数のベンダーから提供されているソフトウェアを統合しているため、こうした状況は避けられません。サポート対象プラットフォームに関する確定的な情報が必要な場合は、担当のセールスチームに依頼してください。

製品階層

IDOL Express Search

IDOL Express Searchは文書数でライセンスされ、単一クラスターで動作するCPU数およびユーザー数に制限はありません。IDOL Express Searchでは、同じ文書が複数回保存された場合、各インスタンスが別々にカウントされます。

DOL Express Searchに含まれる機能は、以下のとおりです。

- **機能**
  - 検索ーライト
  - 検索ー概念
  - 検索ー高度
  - 検索ーパラメトリック
  - ハイパーリンク作成
  - サマリー作成
  - 動的シソーラス
  - スペル修正
  - 自動言語検出
  - ハイライト
- **インフラストラクチャーツール**
  - 分散インデックスハンドラー
  - 分散アクションハンドラー
  - アプリケーションビルダー (ACI API)
- **システム管理ツール**
  - IDOL Admin
  - IDOL Site Admin
- **データ管理ツール**
  - IDOL Data Admin
- **エンドユーザーツール**
  - Find
  - BIFHI
- **コネクター**
  - IDOL Express Searchには、すべてのIDOL標準コネクターが含まれています。

IDOL Premium Search

IDOL Premium Searchは文書数でライセンスされ、単一クラスターで動作するCPU数およびユーザー数に制限はありません。同じ文書が複数回保存された場合、各インスタンスが別々にカウントされます。IDOL Premium Searchには、IDOL Express Searchの機能に加えて、以下の機能が含まれます。

- **機能**
  - 包括的マップドセキュリティ (IAS)
  - パーソナライズパッケージ (アラート機能、メール機能、エージェントなど)
  - エキスパートパッケージ (コラボレーション、エキスパート、プロファイル作成など)
  - 自動クエリガイダンス (AQG)
  - ブーリアンエージェント

IDOL Premium Searchには、他の機能を追加できます (以下のIDOLアドオンモジュールを参照)。

- **コネクター**
  - IDOL Premium Searchには、すべてのIDOL標準コネクターが含まれています。

IDOL Ultimate

IDOL Ultimateは文書数でライセンスされ、単一クラスターで動作するCPU数およびユーザー数に制限はありません。同じ文書が複数回保存された場合、各インスタンスが別々にカウントされます。IDOL Ultimateには、前のセクションに記載したIDOL Premium Searchの機能に加えて、以下の機能が含まれています。

- **機能**
  - センチメント分析
  - 語句抽出
  - クラスタリング
  - ナレッジグラフ分析
  - タクソノミ生成
  - カテゴライズ
  - 地理空間 (ジオスペーシャル)
- **会話**
  - 自然言語による質問応答 (機能)
- **GDPR対応**
  - EUの28か国、アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェーをサポート
- **ビジネス管理ツール**
  - IDOL Collaborative Classifier
- **コネクター**
  - IDOL Ultimateには、すべてのIDOL標準コネクターが含まれています。

IDOL Premium Searchのアドオン

IDOL Premiumのアドオンモジュールでは、追加機能が利用できます。これらのアドオンモジュールは、IDOL Premium Searchに追加できます。これらは、文書数でライセンスされます。これらを利用するには、IDOL Premium Searchソフトウェアを購入する必要があります。同じ文書が複数回保存された場合、各インスタンスが別々にカウントされます。

- **利用可能なアドオンモジュール**
  - センチメント分析
  - 語句抽出
  - クラスタリング

IDOLダイナミックコーパス

IDOLダイナミックコーパスは個別にライセンスされるモジュールです。IDOLダイナミックコーパスを使用すると、データ主導の動的な検出により、コネクターで関連性の高い情報を提供できるようになります。動的コーパスは、Webコネクターに適用されます。

IDOLコネクター

IDOL標準コネクター

IDOL標準コネクターは、IDOL Express Search、IDOL Premium Search、およびIDOL Ultimateに含まれています。IDOL標準コネクターを個別にライセンスすることはできません。IDOL標準コネクターは、リポジトリに接続してリポジトリのデータにアクセスする機能を備えています。以下のコネクターは、IDOL標準コネクターです。

- ファイルシステム (すべてのプラットフォーム)
- ODBC
- Web

IDOL Social Media Connector

これらのコネクターは、IDOL Premium SearchおよびIDOL Ultimateに追加できるアドオンモジュールです。これらは、IDOL Social Media Connectorの数でライセンスされます。ライセンスキーは、指定されたソーシャルメディアコネクターの数に対応しています。ライセンスするコネクターを変更する場合は、新しいライセンスキーを入手する必要があります。コネクターのライセンスキーの変更は、1か月に1回だけ行うことができます。

IDOL Social Media Connectorは、ポーリングに基づいて、リポジトリに接続してリポジトリのデータにアクセスする機能を備えています。以下のコネクターは、IDOL Social Media Connectorです。

- Facebook
- Amazon
- Twitter
- LinkedIn
- YouTube
- Atom
- Quickr
- Weibo
- Yahoo

IDOL Advanced Connector

IDOL Advanced Connectorは、IDOL Premium SearchおよびIDOL Ultimateに追加できるアドオンモジュールです。これらは、Advanced Connectorの数でライセンスされます。ライセンスキーは、指定されたAdvanced Connectorの数に対応しています。ライセンスするコネクターを変更する場合は、新しいライセンスキーを入手する必要があります。コネクターのライセンスキーの変更は、1か月に1回だけ行うことができます。Advanced Connectorは、リポジトリに接続してリポジトリのデータにアクセスする機能を備えています。

以下のコネクターは、IDOL Advanced Connectorです。

- Box
- Chatter
- Confluence
- DataSift
- Documentum
- Dropbox
- Evernote
- Exchange
- Exchange Web Services
- IMAP
- Lotus Notes
- Lync Archiving
- Lync Group Chat
- OCS
- OneDrive
- Oracle
- Oracle UCM
- POP3
- RSS
- Salesforce
- SAP NetWeaver
- SharePoint
- SharePoint Remote
- Skype for Business
- SourceOne
- Micro Focus StoreAll
- Twitterストリーミング

IDOL Plus Connector

IDOL Plus Connectorは、IDOL Premium SearchおよびIDOL Ultimateに追加できるアドオンモジュールです。これらは、IDOL Plus Connectorの数でライセンスされます。ライセンスキーは、指定されたIDOL Plus Connectorの数に対応しています。ライセンスするコネクターを変更する場合は、新しいライセンスキーを入手する必要があります。コネクターのライセンスキーの変更は、1か月に1回だけ行うことができます。

IDOL Plus Connectorは、リポジトリに接続してリポジトリのデータにアクセスする機能を備えています。以下のコネクターは、IDOL Plus Connectorです。

- Alfresco
- Drupal
- Documentum PLUS(+)
- Ektron
- ENOVIA
- Enterprise Vault
- eRoom
- Exchange PLUS(+)
- FileNet P8 PLUS(+)

- Hadoop、IBM Content Manager
- IBM Seedlist
- JIRA
- Jive
- Lotus Notes PLUS(+)
- OpenText/Hummingbird
- SAP NetWeaver
- SharePoint PLUS(+)

(+) のマークの付いたIDOL Plus Connectorには、以下のような高度な機能が1つ以上含まれています。

- **View:** ネイティブまたはネイティブに近い表示で文書を表示する
- **Collect:** 文書を取得し、共有フォルダーなどの宛先に送信する
- **Hold:** ソースリポジトリ内の一連の文書を変更不可にする
- **Release:** 保留の逆の機能を提供する機能
- **Delete:** 一連の文書を削除、リンク解除、およびリポジトリから削除する
- **Update:** 一連の文書に関するメタデータを変更する (作成時刻や作成者など)
- **Insert:** 文書をリポジトリに追加する

用語集

クラスター : 個々のインスタンスのキャパシティ、パフォーマンス、または可用性を向上させるために、1つ以上のサーバー上に作成される一連のインスタンス

コンカレントメディア資産: いずれかの時点で複数のメディア資産を同時に使用すること

コア: 1つのコンパイル済みインストラクションコードストリームを実行するCPUのパーツ

CPU: 1つ以上の個別処理コアを持つ単一の集積回路パッケージに収められたシステム

文書: 検索結果として独立した形で返すことができるテキスト単位 (および関連するメタデータ)

E-LTUおよびE-Media: 電子的な形でのみ提供される製品。このため、これらのE-LTUおよびE-Media製品に関して、発注書に記載された、電子的以外の目的地渡しや配送方法に関する記述は無効となる

GB: ギガバイト。管理可能な物理容量を示す単位

IDOL生データサイズ: ノードテーブル内に格納されるテキストやメタデータを含むすべての文書の非圧縮サイズ。削除された文書で完全削除済みのものを除く

インジェストチャネル: 一度に1つのリッチメディアの外部ソースを処理できる分析サーバーに対する1つのインプット

インスタンス: サーバー上にインストールされたアプリケーションの個々のインプリメンテーション

LTU: License To Use (使用権)

メディア資産: ビデオ、音声、または画像コンテンツを含む単一ファイル

リッチメディア: ファイルまたはIP経由の連続ストリーム形式のビデオ、音声、または画像コンテンツ

サーバー (SVR): 1つまたは複数のソフトウェアのインスタンスがインストールされる指定された任意のコンピューターシステム

TB: テラバイト。管理可能な物理容量を示す単位

期限付き使用権 (期限付きLTU): ライセンスの説明で、1か月 (1M) や1年 (1Y) といったライセンスの有効期間が示されているソフトウェアLTU。期限付きLTUは、永久ライセンスではない

期限付きサポート: 関連する期限付きLTUの期間のみ有効な提供期間の定められたサポート

無制限 (Unl): コンテキストに応じて、システム、デバイス、またはメディアの数に関して制限がないこと

ユーザー : ライセンスされている種類のソフトウェアのみに使用が制限されているユーザー

詳細情報
www.microfocus.com/idol

お問い合わせ先
www.microfocus.com

Micro Focus
英国本社
United Kingdom
+44 (0) 1635 565200

米国本社
Rockville, Maryland
+1 301 838 5000
+1 877 772 4450

www.microfocus.com

マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社
jp-info-enterprise@microfocus.com

www.microfocus-enterprise.co.jp

360-000017-003 | 4AA6-4514 | H | 06/18 | © 2018 Micro Focusまたはそのいずれかの関連会社。 Micro FocusおよびMicro Focusロゴは、英国、米国、およびその他の国におけるMicro Focusまたはその子会社または関連会社の商標または登録商標です。 その他の商標については、それぞれの所有者が権利を有しています。